



# 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 大同工業株式会社

コード番号 6373 URL <http://www.did-daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新家 康三

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長

(氏名) 菊知 克幸

TEL 0761-72-1234

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	21,040	△8.8	1,361	△2.5	1,399	10.9	691	40.4
28年3月期第2四半期	23,068	6.5	1,396	33.3	1,261	4.6	492	△37.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △384百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 53百万円 (△95.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	14.69	—
28年3月期第2四半期	10.47	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	51,440	23,298	36.4	398.00
28年3月期	55,204	24,514	34.9	409.56

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 18,732百万円 28年3月期 19,276百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,200	△2.5	2,300	△18.9	2,500	7.5	1,500	13.9	31.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	47,171,006 株	28年3月期	47,171,006 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	104,989 株	28年3月期	103,976 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	47,066,727 株	28年3月期2Q	47,067,384 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国にて個人消費や雇用が増加し景気回復が続いたものの、中国を始めとするアジア新興国や資源国の景気減速等により先行き不透明な状況が続きました。国内においては、金融・財政政策の取組みにより回復基調にありますが、円高の進行、世界経済の下振れリスク等により、景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、熊本地震や円高による影響を受けたものの、北米や欧州市場において付加価値の高いチェーンの受注が好調に推移したことに加え、国内・海外の生産拠点において原価管理の徹底を図る等収益の改善に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,040百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益は1,361百万円（前年同期比2.5%減）、経常利益は1,399百万円（前年同期比10.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、691百万円（前年同期比40.4%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

## ①日本

熊本地震の影響等により二輪車用完成車メーカーからの受注が低調に推移するとともに、農業機械用ホイールにおいてアセアン諸国での干ばつによる生産調整の影響を受け受注が低調であったことにより、売上高は前年同期比6.5%減少の10,870百万円となりました。

## ②アジア

コンベヤ関連においてタイの搬送関連設備の受注が低調に推移するとともに、二輪車用チェーンにおいてインドネシア、ベトナムを中心に受注が低調であったことから、売上高は前年同期比15.9%減少の5,718百万円となりました。

## ③北米

四輪車用チェーンにおいて完成車メーカーの現調化により受注が増加したことに加え、昨年後半より新機種の量産納入を開始したこともあり、売上高は前年同期比10.2%増加の2,650百万円となりました。

## ④南米

二輪車用チェーンにおいて市場の景気低迷により完成車メーカーの受注が低調に推移し、産業機械用チェーンも厳しい受注状況であったことに加え、為替の円高の影響を受けたことから、売上高は前年同期比32.0%減少の930百万円となりました。

## ⑤欧州

二輪車用チェーンにおいて完成車メーカー及び補修市場向けともに受注が堅調に推移したものの為替の円高の影響を受けたことから、売上高は前年同期比0.1%減少の871百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、現金及び預金が1,483百万円、受取手形及び売掛金が441百万円、建物及び構築物が313百万円、機械装置及び運搬具が453百万円、リース資産が254百万円、投資有価証券が231百万円減少したことなどにより3,764百万円減少し、51,440百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、支払手形及び買掛金が904百万円、借入金が737百万円、退職給付に係る負債が338百万円減少したことなどにより2,548百万円減少し、28,141百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、利益剰余金が455百万円増加したものの、為替換算調整勘定が767百万円、非支配株主持分が670百万円減少したことなどにより1,215百万円減少し、23,298百万円となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ732百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には5,489百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は998百万円（前年同期は2,189百万円の獲得）となりました。これは主に、退職給付に係る負債が313百万円減少、仕入債務が686百万円減少したものの、税金等調整前四半期純利益を1,402百万円、減価償却費を1,056百万円計上したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は16百万円（前年同期は1,808百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入750百万円、有形固定資産の取得による支出970百万円、有形固定資産の売却による収入303百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,317百万円（前年同期は782百万円の使用）となりました。これは主に、借入の返済による支出（純減額）が420百万円、配当金の支払額235百万円、非支配株主への配当金の支払額595百万円等によるものであります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

## (2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,986	5,502
受取手形及び売掛金	9,039	8,598
商品及び製品	3,703	3,574
仕掛品	2,358	2,340
原材料及び貯蔵品	2,205	2,066
繰延税金資産	441	420
その他	1,346	971
貸倒引当金	△45	△40
流動資産合計	26,036	23,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,222	4,908
機械装置及び運搬具(純額)	5,592	5,139
土地	2,797	2,703
リース資産(純額)	1,071	816
建設仮勘定	774	1,037
その他(純額)	644	632
有形固定資産合計	16,102	15,238
無形固定資産		
のれん	89	55
ソフトウェア	138	140
その他	11	11
無形固定資産合計	239	207
投資その他の資産		
投資有価証券	12,125	11,893
繰延税金資産	240	177
その他	429	463
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	12,794	12,534
固定資産合計	29,136	27,979
繰延資産		
社債発行費	31	27
繰延資産合計	31	27
資産合計	55,204	51,440

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,252	4,348
短期借入金	5,967	5,062
リース債務	216	169
未払法人税等	150	196
賞与引当金	482	538
役員賞与引当金	36	—
製品保証引当金	17	18
その他	2,977	2,523
流動負債合計	15,100	12,858
固定負債		
社債	4,500	4,500
長期借入金	6,862	7,029
リース債務	367	306
繰延税金負債	972	906
退職給付に係る負債	2,748	2,410
その他	138	129
固定負債合計	15,589	15,283
負債合計	30,690	28,141
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,726	2,726
資本剰余金	2,060	2,060
利益剰余金	10,270	10,726
自己株式	△19	△19
株主資本合計	15,038	15,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,069	3,819
為替換算調整勘定	248	△518
退職給付に係る調整累計額	△79	△62
その他の包括利益累計額合計	4,238	3,238
非支配株主持分	5,237	4,566
純資産合計	24,514	23,298
負債純資産合計	55,204	51,440

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	23,068	21,040
売上原価	17,928	16,317
売上総利益	5,140	4,723
販売費及び一般管理費	3,744	3,362
営業利益	1,396	1,361
営業外収益		
受取利息	20	44
受取配当金	138	139
持分法による投資利益	76	140
その他	48	95
営業外収益合計	284	420
営業外費用		
支払利息	142	128
為替差損	238	203
その他	37	50
営業外費用合計	418	381
経常利益	1,261	1,399
特別利益		
固定資産売却益	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	3	4
特別損失合計	3	4
税金等調整前四半期純利益	1,257	1,402
法人税、住民税及び事業税	412	296
法人税等調整額	99	108
法人税等合計	511	404
四半期純利益	745	997
非支配株主に帰属する四半期純利益	253	306
親会社株主に帰属する四半期純利益	492	691



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	745	997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△471	△249
為替換算調整勘定	△202	△1,151
退職給付に係る調整額	△1	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	1
その他の包括利益合計	△691	△1,382
四半期包括利益	53	△384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△158	△308
非支配株主に係る四半期包括利益	212	△75

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,257	1,402
減価償却費	1,120	1,056
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△115	△313
受取利息及び受取配当金	△159	△183
持分法による投資損益 (△は益)	△76	△140
支払利息	142	128
為替差損益 (△は益)	—	101
有形固定資産売却損益 (△は益)	0	△8
売上債権の増減額 (△は増加)	4	8
たな卸資産の増減額 (△は増加)	183	△247
仕入債務の増減額 (△は減少)	121	△686
その他	△0	42
小計	2,478	1,159
利息及び配当金の受取額	173	198
利息の支払額	△143	△130
法人税等の支払額	△318	△281
法人税等の還付額	—	52
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,189	998
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△450	△0
定期預金の払戻による収入	34	750
有形固定資産の取得による支出	△1,347	△970
有形固定資産の売却による収入	0	303
その他	△44	△65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,808	16
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	21	△1,184
長期借入れによる収入	26	1,167
長期借入金の返済による支出	△467	△403
セール・アンド・リースバックによる収入	135	—
配当金の支払額	△235	△235
非支配株主への配当金の支払額	△156	△595
その他	△106	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△782	△1,317
現金及び現金同等物に係る換算差額	104	△430
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△297	△732
現金及び現金同等物の期首残高	4,694	6,222
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,396	5,489

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,627	6,797	2,404	1,367	872	23,068	—	23,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,163	216	—	—	—	3,379	(3,379)	—
計	14,791	7,013	2,404	1,367	872	26,448	(3,379)	23,068
セグメント利益又は損 失(△)	970	490	82	△131	56	1,468	(72)	1,396

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△72百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,870	5,718	2,650	930	871	21,040	—	21,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,024	183	—	—	0	3,208	(3,208)	—
計	13,894	5,901	2,650	930	871	24,249	(3,208)	21,040
セグメント利益又は損 失(△)	586	593	172	△140	56	1,268	92	1,361

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額92百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。